

## 南部・東部地域振興対策特別委員長報告

南部・東部地域振興対策特別委員会における、これまでの調査並びに審査の経過についてご報告申し上げます。

昨年五月の委員会設置以来、南部・東部地域の振興に関することについて、県内の実情を含め、各般にわたり調査並びに審査を行ってまいりました。

平成二十三年九月に県南部地域を中心に発生した紀伊半島大水害からの「集中復旧・復興期間」が平成二十六年度末に終了し、「地域振興」へとステージを移した「南部振興基本計画」及び「東部振興基本計画」が平成二十七年三月に策定されました。両計画の達成に向けた取り組みが進められており、その内容の報告を受けているところです。

まず、初度委員会においては、地域振興策、林業振興策、道路の基盤整備等の主要な施策の概要について説明を受け、十津川村から産出される木材のブランド化をはかるとともに、販路の開拓を進めるようにとの要望がありました。

次に、八月五日には県内調査として、「株式会社クリーンエナジー奈良」での木質バイオマス発電事業を通じた林業の活性化について、そして、「下市木工舎 市 ichi」では吉野杉を活用した家具作りによる地域おこしについて、とりわけ、南部地域の振興を図る施策の調査を行ったところであります。

次に、九月定例会においては、提出予定議案の他、「奈良県過疎地域自立促進方針」等の策定にかかる説明を受けるとともに、土砂災害地域防災マップづくりガイドライン等を活用した災害時の避難方法の検

討、道路整備の積極的な推進、落石による道路災害の未然防止などの質疑が行われ、「奈良県過疎地域自立促進方針」の策定にあたっては、関係市町村との緊密な連携を図るよう要望されました。

次に、十二月定例会においては、提出予定議案の説明を受けるとともに、南部・東部地域における観光客・宿泊者数の増加に向けた取り組み、鳥獣被害対策などについての質疑が行われました。

引き続き、委員間討議では、南部・東部地域における特色ある食と宿泊施設等にかかる情報発信について議論を行いました。

次に、二月定例会においては、提出予定議案の次年度当初予算案をはじめ、南部・東部地域の振興に係る取組状況などの報告を受けるとともに、「路線バス運賃キャッシュバックキャンペーン」の効果、次年度の新規事業の「安心して暮らし続ける奥大和生活支援事業」の実施内容、観光資源となる地域資源の発見と創出にかかる取り組み内容など、各般にわたり活発な議論が交わされました。

引き続き、委員間討議では、南部地域から産出される木材のブランド化や販路拡大、南部・東部地域における更なる宿泊客の誘客について議論を行いました。

以上のような経緯を踏まえ、以下、四点について、さらに要望するものであります。

- 一 南部・東部地域の宿泊観光客を増加させるため、ホテルや旅館などの業態にとらわれることなく、宿泊施設へのきめ細やかな支援に取り組みたいこと。

また、特色ある郷土料理や宿泊施設に関する情報発信とともに、

観光資源となる地域の魅力の創出に引き続き努められたいこと。

一 南部・東部地域における道路整備は鋭意進められているものの、遅れていることは否めない状況であることから、国への積極的な働きかけを行い、整備の促進を図られたいこと。

一 土砂災害地域防災マップづくりガイドライン及び奈良県深層崩壊マップを活用し積極的な災害防除が図られるよう、引き続き関係市町村と連携・協力の推進に努められたいこと。

また、落石による道路災害を未然に防止するため、積極的な道路の点検に努められたいこと。

一 獣害対策の実施にあたっては、ニホンジカやイノシシの生息頭数の適正化の実現に向けて、効果的な捕獲を行うとともに、農地への侵入防止柵の設置にあたり、特段の配慮をされたいこと。

なお、今後も、当委員会においては、南部・東部地域の振興にあたり、「南部振興基本計画」及び「東部振興基本計画」に関することについて、引き続き慎重に審議を行ってまいりたいと考えております。

以上、申し上げて中間報告といたします。